

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	音楽	学年	1	年	時間数	45	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学生の音楽1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション 歌唱：歌い合わせる喜び	○ 中学校の音楽活動の概要について ○ 「校歌」(斉唱・三部合唱)、「We'll Find The Way～はるかな道へ～」 ・ 基礎的な歌唱の技能、用語、記号の確認	○	○	○	授 業 の 概 要 歌唱活動を中心とし、学期に一度の鑑賞活動、年間を通してアルトリコーダーを演奏します。歌唱では、混声三部合唱に取り組み、合唱する楽しさ、素晴らしさを味わいます。また、歌唱や鑑賞で日本音楽を積極的に取り入れ、我が国の音楽について理解を深めます。
	5	器楽：アルトリコーダー(通年) 中間考査(5/16～5/17)	○ アルトリコーダーの奏法、アンサンブル ・ アルトリコーダーの基礎的な奏法の習得	○	○	○	
	6	鑑賞：情景を思い浮かべる	○ 「和声と創意の試み」第1集「四季」から 春 第1楽章 ・ 情景や表現、曲の美しさ ・ 合奏と独奏の対比、曲の構成	○	○	○	
	7	期末考査3年(6/28～7/4) 期末考査1・2年(6/29～7/4) 歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○ 「浜辺の歌」 ・ 歌詞が表す情景の表現と、拍子、速度、形式を生かした歌唱	○	○	○	
	夏季	夏季休業日(7/21～8/24)					学 習 の 到 達 目 標 ・ 発声や発音、ハーモニーを意識し、諸記号を生かして合唱することができる。 ・ アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、楽曲に応じた表現をすることができる。 ・ イメージを持ちながらリズムや音を音楽へと創作することができる。 ・ 情景や心情を感じ取り、表現要素(速度、強弱など)や構成要素(音域、楽器の音色、リズムなど)を聴き取り、自分の言葉で表現することができる。
	8		○ 一学期末より引き続き「浜辺の歌」	○	○	○	
	9	鑑賞：物語と曲想との関わり 中間考査(10/5～10/6)	○ 鑑賞曲「魔王」 ・ 登場人物ごとの表現、伴奏の効果の聴取 ・ 物語の進行と曲想の変化	○	○	○	
	10	歌唱：曲の構成を感じる 創作：音のつながりを生かそう	○ 「主人は冷たい土の中に」 ・ 旋律の特徴や強弱の変化、曲の構成 ○ 「My Melody」 ・ 音をつなげて旋律作り	○	○	○	
二 学 期	11	歌唱：混声合唱の楽しみ	○ 混声三部合唱「マイバード」 ・ いろいろな用語や記号の理解、全体の響きを感じ取り、表現を工夫	○	○	○	評 価 の 観 点 知識 ・ 技能 曲想や音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。
	12	期末考査3年(11/29～12/5) 期末考査1・2年(11/30～12/5) 歌唱：日本語の抑揚を大切にした歌	○ 「赤とんぼ」 ・ 旋律と形式の確認と独唱による表現の工夫	○	○	○	
	冬季	冬季休業日(12/21～1/8)					
	1	鑑賞：和楽器の魅力や味わい	○ 二学期末より引き続き「赤とんぼ」 ○ 鑑賞曲 雅楽「平調越天楽」 ・使用する和楽器の音色と特徴、伝統音楽の美しさを聴取し触れる	○	○	○	
	2	歌唱：表現を求めて 学年末考査3年(2/22～2/29) 学年末考査1・2年(2/26～2/29)	○ 「上を向いて歩こう」「Forever」 ・ パート別練習、諸記号の理解とまとめの合唱	○	○	○	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質な雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。
	3		○ 1年間のまとめ	○	○	○	
							主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
三 学 期							評 価 方 法 学習の状況は、「知能・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。また、「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」でも評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法で評定します。
							備 考

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科書名	中学生の音楽2・3上	出版社名	教育芸術社
------	------------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単 元	内 容	知	思	主		
一 学 期	4	器楽:アルトリコーダー(通年)	・ アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎		授 業 の 概 要 音楽1で学んだ基礎的な技能を踏まえ、歌唱、鑑賞活動を行います。また、年間を通してアルトリコーダーを演奏します。歌唱では、混声三部合唱に取り組み、各声部の役割の大切さに気付きながら、表現することの素晴らしさを味わいます。	
		歌唱:歌い合わせる喜び	○「夢の世界を」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認		○	◎		
	5	歌唱:歌詞の内容を味わって	○「フーガト短調」					
		中間考査(5/16～5/17)	・各声部のかかわりの聴取		○			
			・パイプオルガンの理解と作曲や楽曲の背景の理解			◎		
	6	歌唱:歌詞の内容を味わって	○「翼をください」 ・ 歌詞の理解、諸記号と声部の役割の確認		○	◎		
		期末考査3年(6/28～7/4) 期末考査1・2年(6/29～7/4)			○	◎		◎
夏 季	7	歌唱:日本の美しい情景を表す歌	○「荒城の月」 ・ 歌詞が表す情景の表現と、拍子、速度、形式を生かした歌唱		○	◎	・ 発声や発音、ハーモニーを意識し、楽曲に応じた歌唱表現をすることができる。 ・ アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ 言葉や音階などの特徴を生かして、表現を工夫して旋律をつくることができる。 ・ 楽曲の歴史的背景を理解し、情景、表現要素(速度、強弱など)や構成要素(音域、楽器の音色、リズムなど)を聴き取り、自分の言葉で表現することができる。	
		夏季休業日(7/21～8/24)						
	8							
二 学 期	9	創作:言葉を生かした旋律作り	○「マイメロディ」 ・俳句に音を付けて、作曲活動を行う		○	◎	○	評 価 の 観 点 知識 ・ 技能 ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
		歌唱:曲想の変化や音楽の構成を生かして	○「夏の日の贈りもの」 ・ 曲想の変化を味わい、ふさわしい表現を工夫					
	10	中間考査(10/5～10/6)	・ 音楽の構成を理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫		○		◎	思考 ・ 判断 ・ 表現 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質な雰囲気を感じながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。
			・ 主旋律の声部を確かめ、強弱の設定を生かした歌唱					
	11	鑑賞:総合芸術の魅力 -オペラ-	○ 鑑賞曲 オペラ「アイダ」 ・ 物語の内容や台詞に伴う音楽表現の豊かさの聴取 ・ 人物の役柄と声の種類や音域との関わり方の理解 ・ 音楽と他の芸術との関わり方の理解		○		◎	
		期末考査3年(11/29～12/5) 期末考査1・2年(11/30～12/5)	○「やさしさに包まれたなら」			○	◎	◎
	冬 季	12	歌唱:歌い継ごう日本の歌	・ 声部の関わり合いを理解する ・ 曲にふさわしい表現の工夫		○		◎
冬季休業日(12/21～1/8)								
1		鑑賞:日本の伝統的な声の特徴	○ 鑑賞曲 歌舞伎「勸進帳」 ・ 物語の内容を理解し、音楽と舞台との関わりによる表現を味わう ・ 歌舞伎音楽の特徴や役割の理解		○		◎	
三 学 期	2	歌唱:響き合うよろこびを味わおう	○「大切なもの」 ・ パート別練習及び全体練習 ・ 主旋律と声部の役割を理解し、速度や強弱の変化を楽しみながら合唱			○	◎	評 価 方 法 ・ 学習の状況は、「知能・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。また、「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」でも評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法で評定します。
		学年末考査3年(2/22～2/29) 学年末考査1・2年(2/26～2/29)			○	◎	◎	
	3		○1年間のまとめ		○	◎	◎	

シ ラ バ ス

令和5年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	音楽	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学生の音楽2・3下	出版社名	教育芸術社
------	------------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等	
		単 元	内 容	知	思	主		
一 学 期	4	器楽：アルトリコーダー（通年）	・ アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎		授 業 の 概 要 一、二年生で学習した内容をもとにさらに学習内容に広がりをもたせます。 歌唱では、イタリア語の歌曲や、合唱曲を歌います。器楽では、アルトリコーダーの練習に加えて、箏の基本的な奏法を学び、鑑賞では、形式や演奏形態を理解しながら楽曲への理解を深めます。	
		歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○ 「花」 ・ 歌詞を味わい、情景を感じ取った歌唱 ・ 言葉と旋律の関わりや伴奏の効果を感じ取り表現を工夫					
	5	中間考査(5/16～5/17)		○	◎			
		鑑賞：音楽の構成を理解して	○ 鑑賞曲 「ボレロ」 ・ 繰り返しの効果と変化する音色や組み合わせによる響きの聴取			◎		
	6	歌唱：歌い合わせ、聴き深める喜び	○ 「時を越えて」 ・ 主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現を工夫			◎		
		期末考査3年(6/28～7/4) 期末考査1・2年(6/29～7/4)		○	◎	◎		
	7	創作：言葉を生かした旋律作り	○ マイメロディ ・和音に含まれる音から旋律を作り創作を行う		○	◎	○	
夏季休業日(7/21～8/24)								
二 学 期	8	歌唱：曲想の変化を生かして	○ 「帰れソレントへ」 ・ 速さ、強弱の設定と転調による曲想の変化を味わいながら歌唱 ・ 正確なイタリア詞唱と曲種に応じた歌い方を工夫		○	◎	評 価 の 観 点 知識 ・ 技能 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	
		鑑賞：多彩な音楽を聴こう	○ ポピュラー音楽(ロック・ジャズ・ボサノヴァ) ・リズムや音色、旋律、音の重なりを聴取し、世界の音楽を感じる					
	10	中間考査(10/5～10/6)	○ 世界の諸民族の音楽(朝鮮半島・アラブ諸国・インド) ・世界各国の諸民族の音楽や楽器を聴取し、音色やリズム、表現を味わう		○			◎
		歌唱：混声合唱の楽しみ	○ 「大地讃頌」 ・ 歌詞の内容を味わった歌唱 ・ 声部の役割を理解して表現を工夫			○	◎	
	12	期末考査3年(11/29～12/5) 期末考査1・2年(11/30～12/5)			○	◎	◎	主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		冬季休業日(12/21～1/8)						
	三 学 期	1	鑑賞：日本の伝統芸術の魅力 -能-	○ 鑑賞曲 能「敦盛」 ・ 面や衣装、舞台表現の特徴などの理解 ・ 物語の内容の理解、声の出し方や楽器との合わせ方に着目した鑑賞		○		◎
歌唱：混声合唱の楽しみ2			○ 「旅立ちの日に」 ・ 声部の役割や、速度や強弱の変化を生かした歌唱 ・ 曲想の変化を感じ取って表現を工夫			○	◎	
2		学年末考査3年(2/22～2/29) 学年末考査1・2年(2/26～2/29)			○	◎	◎	
		3	器楽：和楽器 箏を弾こう	○ 「さくら さくら」 ・ 箏の特徴、平調子について知り、基本的奏法を習得		○		◎

令和5年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(4・5年生用)

教科	芸術	科目	音楽 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2 単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	------

教科書名	MOUSA 1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション 歌唱：正しい姿勢や呼吸法、発声法を 身に付けよう	○ 1年間の音楽活動の概要 ○ 「Ave Maria」、「Lemon」「負けないで」 ・基礎的な歌唱技能の確認	◎	◎	○	授 業 の 概 要 基礎的な技能を踏まえ、歌唱、器楽、鑑賞活動を行います。歌唱では、さまざまな国の歌に親しみます。また、正確な音程や響きの統一により美しいハーモニーづくりを目指します。器楽ではギター、篠笛の基本的な奏法を学びます。
	5	鑑賞：古典派の音楽を知ろう 中間考査5年(5/9～5/12)	○ モーツァルトの生涯と作品 ・古典派音楽の特徴と作品の理解	○		◎	
		中間考査4年(5/16～5/19)	○ 「Heidenroslein」 ・歌詞の内容の理解	◎	◎	○	学 習 の 到 達 目 標
		歌唱：ドイツ語の歌に親しもう 器楽：ギターに挑戦1(単旋律)	○エーデルワイス ・ギターの基本的な奏法と単旋律の演奏	◎	◎	○	
	6	鑑賞：ミュージカルに親しもう	○「サウンドオブミュージック」 ・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	○		◎	・ 楽曲に合った豊かな発声法や響かせ方を工夫し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現をすることができる。 ・ ギター、篠笛の基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・ 音楽材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくることができる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠を持って自分なりに批評することができる。
	7	期末考査(6/28～7/4)		○		◎	
		歌唱：ギターに挑戦2(コード)	○「カントリーロード」 ・コードの確認と弾き歌い	◎	◎	○	評 価 の 観 点 知識・技能 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
夏季		夏季休業日(7/21～8/24)					
二 学 期	8	歌唱：イタリア語の歌に親しもう	○ 「Caro mio ben」、「O sole mio」 ・歌詞の内容を理解し、表現を深めた歌唱 ・用語や記号を表現に生かした歌唱	◎	◎	○	思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
	9	歌唱：ミュージカルに親しもう	○ 「キャッツ」より「Mamory」 ・ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	◎		◎	
	10	中間考査(10/3～10/6)					主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		鑑賞：オペラを聴こう	○ オペラ「カルメン」 ・フランス語のオペラの魅力や歌手の表現の工夫	○		◎	
	11	器楽：篠笛に挑戦	○ 「ほたるこい」、「さくら」 ・基本的な奏法の確認	◎	◎	○	・和楽器とオーケストラのコラボレーション
		鑑賞：日本音楽の歴史を知ろう	○武満徹「ノヴェンバー・ステップス」 ・日本音楽の特徴と発展、和楽器の伝承			◎	
	12	期末考査(11/29～12/5)					
三 学 期	1	創作：iPadで作曲活動をしよう	○ オリジナル着信音の作曲 ・音を加えたり、リズムや拍子、調などの要素を変えたメロディーづくり	◎	○	○	評 価 方 法 学習の状況は、「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体物には、おもに「出席」「授業態度・取組方」「実技テスト(歌唱・器楽)」「提出物(創作・鑑賞)」「小テスト(知識・理解)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		器楽：篠笛に挑戦2	○「お囃子」 ・リズムの工夫と応用的な奏法の工夫	◎	◎	○	
	2	学年末考査(2/22～2/29)		◎	◎	○	備 考
		歌唱：ヴォイスアンサンブルを楽しもう	○ヴォイスパーカッション「サザエさん」 ・パート練習及び全体練習 ・発音の仕方とドラム特有の音質の表現	◎	◎	○	
	3						

愛媛県立宇和島南中等教育学校(6年生用)

教科書名	MOUSA2	出版社名	教育芸術社
------	--------	------	-------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	関	創	技	鑑	
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	○	◎	◎		授 業 の 概 要 音楽Ⅰまでで学んだ基礎・基本的な内容を踏まえた応用的な内容になります。歌唱は難易度の高い楽曲に取り組み、器楽では自由な編成でのアンサンブルやギター演奏を、鑑賞では近・現代音楽といわれるジャンルの音楽を学習します。また、創作領域として、簡単な編曲にも挑戦します。
		歌唱:呼吸法と発声法	○ 「Alleluja」、「ハナミズキ」、「上を向いて歩こう」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認					
	5	器楽:ギターを弾こう1	○ 「糸」 ・ コードの確認と弾き歌い	○	◎	◎		
		中間考査(5/16～5/19)	鑑賞:近・現代音楽					
	6			◎			◎	
		期末考査(6/28～7/4)						
夏 季	7	歌唱:ドイツ歌曲	○ ドイツ歌曲 「春への憧れ」 ・ 正しいドイツ詞唱と曲想に応じた表現	○	◎	◎	学 習 の 到 達 目 標 ・ 楽曲に合った発声法を目指すだけでなく、自分自身の声質や声域を理解し、より美しい歌声作りをすることができる。 ・ 楽曲に対してこだわりをもち、より良い演奏を目指すことができる。 ・ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって編曲することができる。 ・ 作曲者の意図を理解し、素直な気持ちで鑑賞することができる。 ・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠をもって自分なりに批評することができる。	
		夏季休業日(7/21～8/24)						
	8	器楽:ギターを弾こう1	○ 「涙そうそう」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い	○	◎	◎		
二 学 期	9	創作:メロディーの雰囲気を変化させよう	○ 「Amazing Grace」で変奏曲をつくらう ・ 音楽を形づくっている要素を操作しながら編曲	○	○	◎	○	評 価 の 観 点 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。
		中間考査(10/3～10/6)						
	10	鑑賞、歌唱:オペラに親しもう	○ 「トゥーランドット」 ・ オペラ、作曲家プッチーニ、物語のあらすじについて理解 ・ 音楽の要素や曲の特徴を把握し、自らの言葉で表現 ・ アリア「誰も寝てはならぬ」歌唱(イタリア語の確認)	○	◎	◎	◎	音楽表現の創意工夫 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
		歌唱:日本語の語感を生かして歌おう	○ 「椰子の実」 ・ 日本語の美しい響きと情感豊かな表現					
	11			○	◎	◎		音楽表現の技能 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたうえで、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
		期末考査(11/29～12/5)						
冬 季	12	歌唱:のびのびと歌おう	○ 「Tears In Heaven」、「You raise me up」 ・ 英語の語感を生かした歌唱	○	◎	◎		鑑賞の能力 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたうえで、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
		冬季休業日(12/21～1/8)						
	1	器楽:ギターを弾こう3	○ 「ロビンソン」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い	○	◎	◎		
三 学 期	2	歌唱:合唱曲を歌おう	○ 「瑠璃色の地球」 ・ 混声合唱の響きを感じ取り、各声部の役割を知る 家庭学習	○	◎	◎		評 価 方 法 学習の状況は、「音楽への関心・意欲・態度」、「音楽表現の創意工夫」、「音楽表現の技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「提出物(創作や鑑賞)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
			◎					
	3			◎	◎			
				◎	◎			
備 考								

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	美術	学年	1	年	時間数	45	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術1 美術との出会い	出版社名	日本文教出版
------	-------------	------	--------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	図画工作、そして…美術へ			○	授 業 の 概 要 「美術1」では、絵画・デザイン・彫刻・工芸それぞれの分野において基本的な創作活動を行います。その活動を通してものの見方・感じ方、主題や発想の創出、考えやイメージの組み立て、形や色で表す感覚などの基礎的技能を身に付けていきます。また、鑑賞などを通して美術に親しみ、自分を表現する楽しさを体験していきます。
		楽しく伝える文字のデザイン(デザイン)	○レタリング ・明朝体・ゴシック体 ・線描き 肉付け ・完成			○	
	5	中間考査(5/16～5/17)	○12色相環			○	
			・三原色			○	
	6		・色相、明度、彩度			○	
			・着色	◎			
			・着色	◎			
二 学 期	7	期末考査3年(6/28～7/4) 期末考査1・2年(6/29～7/4)	○ポスター制作の基礎(テーマ選択)・テーマを決める、深める。	○		◎	学 習 の 到 達 目 標 ・ アクリル絵の具等の用具をきちんと使用することができる。 ・ 基本的な美術の感性や技能を身に付け、自己表現することができる。 ・ 色彩やデザイン、絵画の基礎・基本を理解し、制作できる。 ・ 友人の作品の良さを感じ取ることができる。
		記憶に残るシンボルマーク(デザイン)	・アイデアスケッチ ・コピー(文案)レタリング、レイアウト、下描き、配色計画、着色、完成 ・アイデアスケッチ②	◎	◎	○	
				◎		◎	
	8	夏季休業日(7/21～8/24)					
	9	ポスター鑑賞	・相互鑑賞			○	
		美しい構成と装飾	○自然の形や色彩			◎	
		光を使った芸術	・光の色と材料の組合せを学ぶ、ステンドグラスの理解			○	
	10		・自然の表情からアイデアを探る。		◎		評 価 の 観 点 知 識 ・ 技 能
			・表現意図に合わせて、形や色彩を工夫する。	○	◎		
			・ “ ”	○	◎		【知】形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技】材料や用具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。
	11	中間考査(10/5～10/6)	・アイデアスケッチ			○	
			・アイデアスケッチ			○	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
			・ステンドグラスの制作①	◎		○	
三 学 期	12		・ステンドグラスの制作②	◎		○	【発】身近なものを見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。
			・ステンドグラスの制作③	◎		○	
			・ステンドグラスの制作④	◎		○	主 体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度
			・ステンドグラスの制作⑤	◎		○	
	1	期末考査3年(11/29～12/5) 期末考査1・2年(11/30～12/5)	・相互鑑賞	○		◎	【態表】美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【態鑑】美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		作品鑑賞				○	
		フィンセント・ファン・ゴッホ(鑑賞)	○光に魅せられて、浮世絵との出会い			○	評 価 方 法
		冬季休業日(12/21～1/8)					
	2	観て感じて、描く	○スケッチ		◎	○	学 習 の 状 況 は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		身近なものの美しさをスケッチする	・いろいろなスケッチを通して観察することを身に付ける。(知る、考える、伝える) ・身近にあるものをスケッチ① ・身近にあるものをスケッチ②	○			
			・重色と混色について	◎		○	
	3		・目的に応じて、描き方や材料を工夫してスケッチ	◎			
		学年末考査3年(2/22～2/29) 学年末考査1・2年(2/26～2/29)	・着色① ・着色②	◎		○	備 考
		作品鑑賞・私が見つけた物語(鑑賞)	・相互鑑賞			○	
		2年生に向けて	・鑑賞発表			○	
			まとめ			○	

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科書名	美術・2・3上下 学びの実感と広がり・学びの探求と未来	出版社名	日本文教出版
------	-----------------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション	生活の中に生きる美術　○遠近法で立体的に描く			◎	授業の概要 2年生では遠近法や誇張や単純化の学習を通して、1年生で学んだ学習をさらに深め、絵画や立体のより高い表現を体得していきます。あこがれや夢を表現したり、楽しく効果的な表現をめざし、表現の楽しさを感じ取っていきます。
		視点の冒険	・透視図法（一点透視図法、二点透視図法）の仕組み ・校内の透視図法になる場所を探して写真に撮ろう	◎		○	
			・写真をトレースしよう ・下描きの完成	○		◎	
	5	中間考査（5/16～5/17）	・水彩画の復習	◎			
			・着色	◎			
			・着色			○	
	6		・着色			○	
			・仕上げ	◎	○		
			・完成	◎			
	7	期末考査3年（6/28～7/4） 期末考査1・2年（6/29～7/4）	○ポスター制作　・テーマを決める、深める。	◎		◎	
		豊かなイメージで伝えよう（デザイン）	・アイデアスケッチ ・コピー（文案）レタリング、レイアウト、下描き	◎			
				◎			
夏季		夏季休業日（7/21～8/24）				学習の到達目標 ・透視図法を使って簡単な立体の表現ができる。 ・ポスターの基礎・基本を理解し、制作に応用できる。 ・粘土による作品作りを通して、素材による幅広い表現ができる。 ・アイデアを楽しく効果的に表現するための方法を理解し、活用できる。	
8	ポスター鑑賞	・相互鑑賞			◎		
	日本の美意識（彫刻）	○日本の伝統技術を知ろう　・和菓子のデザイン・和菓子のデザイン			◎		
	自然の形体や材料を生かして	・季節感のある形や色彩を知る。			◎		
9	食の場を彩ろう	・日本の伝統色 ・アイディアスケッチ ・アイディアスケッチ			○		
			○	◎			
	中間考査（10/5～10/6）	・粘土制作① ・粘土制作② ・粘土制作③ ・粘土制作④ ・粘土制作⑤ ・粘土制作⑥ ・年度制作⑦ ・完成	◎	○	◎		
10			◎	○			
			◎	○			
			◎	○			
11			◎				
			◎				
			◎				
12	期末考査3年（11/29～12/5） 期末考査1・2年（11/30～12/5）	・相互鑑賞			◎		
	作品鑑賞 東へ、西へ・・・（鑑賞）	○美術がつなぐ人と文化 ・冬休みの課題説明	○		◎		
	冬季休業日（12/21～1/8）						
冬季		心でとらえたイメージ（絵画、デザイン）		○	◎	主体的に学習に取り組む態度 【意表】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【意態】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
1		○自分との対話 ・自分のイメージ ・イメージの具現化 ・モダンテクニックの実践 ・イメージの具現化 ・コラージュ		○	◎		
				○	◎		
				○	◎		
2				○	◎		
				○	◎		
				○	◎		
3	学年末考査3年（2/22～2/29） 学年末考査1・2年（2/26～2/29）	・配色・着色の工夫	◎				
			◎				
	時代の流れの中で変化するデザイン（鑑賞）	・仕上げ　・完成	◎		○		
3	1年間のまとめ	・相互鑑賞 ・まとめ	◎		○		
					○		

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	美術	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術2・3上下 学びの実感と広がり・学びの探求と未来	出版社名	日本文教出版
------	----------------------------	------	--------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	・社会に広がる美術			◎	授 業 の 概 要 3年生では、2年生までの学習を踏まえて、それぞれの課題に自己のテーマを設定し、主体的に制作活動をしていきます。表現能力や技能をさらに高め、より良い作品を追求しながら、芸術の喜びを味わいます。 学 習 の 到 達 目 標
		魅力を伝えるパッケージ	・パッケージデザインに関心を持って、ティッシュボックスのデザインを考える	◎		○	
		暮らしを心地よくするインテリア (理想のお菓子パッケージ)	・アイデアスケッチ	○	◎		
	5		・下描き①	◎	○		
			・下描き②	◎	○		
		中間考査(5/16～5/17)	・着色①	◎			
	6		・着色②	◎			
			・着色③	◎			
			・着色④	◎			
			・着色⑤	◎			
		・完成	◎		○		
7	期末考査3年(6/28～7/4) 期末考査1・2年(6/29～7/4)	・相互鑑賞	◎		◎		
	問題意識を形に(デザイン) (社会の問題を美術を通してとらえよう)	○ポスター制作の基礎(テーマ選択) ・テーマを決める、深める。 ・構成美の要素		◎			
				◎	○		
夏 季		夏季休業日(7/21～8/24)				・ 自分の表現したい意図が見る側にしっかり伝わるように粘り強く制作に取り組むことができる。 ・ 自分の個性を感性豊かに表現すると同時に、友だちの作品の深みを読み取ることができる。 ポスターの意味をしっかりと理解し、高いレベルで制作できる。 ・ 人間にとって芸術とは何なのか、を自分の問題として考えることができる。	
8	夏休みの課題ポスター鑑賞	・鑑賞発表			◎		
	日本の美意識	・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞①		○	◎		
	自然の形や材料を生かして (点描技法を用いて)	・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞② ・和柄や紋のデザインから学ぶ		○	◎		
9		・アイデアスケッチ①		◎			
		・アイデアスケッチ②		◎			
	中間考査(10/5～10/6)	・下描き①	◎	○			
		・下描き②	◎	○			
		・着色①	◎				
10		・着色②	◎				
		・着色③	◎				
		・着色④	◎				
		・着色⑤	◎				
		・完成	◎				
11	期末考査3年(11/29～12/5) 期末考査1・2年(11/30～12/5)	・相互鑑賞	◎		◎		
	さまざまなアートに触れよう	・鑑賞		○			
	日本や世界の文化遺産	・文化遺産についての鑑賞		○			
冬 季		冬季休業日(12/21～1/8)					主体的に学習に取り組む態度 【態表】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自己の内面などを基に構想を練ったり構図や表情など意図に応じて表現方法を創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 【態鑑】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1	石を彫る(デザイン・工芸) (自然とのつながりから生まれた造形)	○篆刻 ・陽刻と陰刻について ・芸術作品としての印 ・アイデアスケッチ	○		○		
		・彫る①			◎		
		・彫る②			◎		
2		・彫る③			◎		
		・完成	◎	○			
	学年末考査3年(2/22～2/29) 学年末考査1・2年(2/26～2/29)		◎				
3	日本美術の展開と世界との交流(鑑賞)	・完成(2学期制作の屏風にも押印)	◎		○		
	3年間のまとめ	○巻末資料を基にDVD鑑賞 ・美術との向き合い方	○				

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(4・5年生用)

教科	芸術	科目	美術 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	美術1	出版社名	光村図書
------	-----	------	------

学期	月	指 導 計 画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単 元	内 容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	美術Iについて	○			授 業 の 概 要
		ピクトグラムの制作(デザイン)	○ピクトグラムとは ・運動部の部室のピクトグラム化 ・鑑賞・アイデアスケッチ	○			「美術I」では、美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
			・下描き1・2		○		(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	5	中間考査5年(5/9～5/12)	・下描き3・4		○		(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
		中間考査4年(5/16～5/19)	・着彩1・2	○	○		
			・着彩3・4	○			
	6		・着彩5・6	○			
		作品鑑賞	・仕上げ	○			
		ポスターの制作(デザイン)	・相互鑑賞・人気投票	○		○	
			○ポスター制作の基本	○			学 習 の 到 達 目 標
夏 季	7	期末考査(6/28～7/4)	・テーマ決定 ・アイデアスケッチ1		○		・絵画・彫刻では、感じ取ったことや考えたことなどから 主題を生成し、その主題を追求して表現することができる。
			・アイデアスケッチ2・3		○		・デザインでは、目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成し、表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現することができる。
			・下描き1 ・下描き2	○			・鑑賞では、美術作品などの良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めることができる。また、日本の美術の歴史や表現の特徴、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めることができる。
	8	夏季休業日(7/21～8/24)					
		ポスターの鑑賞	・相互鑑賞			○	
		油彩画に親しむ(絵画)	○油彩による有名な絵画作品を用いた自画像の制作			○	
	9		・自分の写真撮影	○			
		デジタルアート入門	・フォトショップによるデジタル加工作業1・2	○			評 価 の 観 点
			・フォトショップによるデジタル加工作業3・4	○			知識 ・ 技能
			・下描き1・2	○	○		・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。
二 学 期	10	中間考査(10/3～10/6)	・下描き3・4	○	○		・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
		水性油絵の具の特性、下描きと地塗り	・下塗り1・2	○	○		
			・下塗り3・4	○	○		
	11	明暗の表現(補色混合)	・油彩での着色1・2	○		○	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
		油彩の塗り方	・油彩での着色3・4	○		○	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
		陰影の塗り方	・油彩での着色5・6	○		○	
	12	細部の描き込み	・油彩での着色7・8	○		○	
			・油彩での着色9・10	○		○	
		期末考査(11/29～12/5)	・仕上げ		○		主体的に学習に取り組む態度
		鑑賞	・鑑賞	○		○	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
冬 季	1	冬季休業日(12/21～1/8)					
		切り絵制作(デザイン・彫刻)	・切り絵の基本的な特徴 ・アイデアスケッチ1			○	評 価 方 法
			・アイデアスケッチ2 ・原案完成			○	学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価を行う。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価を行う。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定を行う。
	2		・黒画用紙のカッティング1・2		○		
			・カッティング1・2		○		
			・カッティング3・4		○		
	3		・カッティング5・6		○		
		学年末考査(2/22～2/29)	・カッティング7・8		○		
			・仕上げ(バランスを見て制作)	○		○	備 考
		鑑賞	・仕上げ(色画用紙に貼り、額にはめる)	○		○	
三 学 期	3	時を越える創造(鑑賞)	・相互鑑賞			○	
			・一年間を振り返って			○	
						○	
	4						
	5						

愛媛県立宇和島南中等教育学校(6年生用)

学期	月	指 導 計 画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等		
		単 元	内 容	関	構	技	鑑			
一 学 期	4	オリエンテーション	美術Ⅱについて	○			○	授 業 の 概 要 「美術Ⅱ」では、これまでの美術で学習したことを踏まえ、自分に合った表現方法を探りながら自主的な創造活動を中心に行い、個性豊かな表現の能力を養います。 また、幅広い地域や時代の作品や広く社会の中で活躍する作家などを取り上げ、生涯を通して美術文化について理解を深めます。		
		卒業制作(デザイン)	○Tシャツ制作・課題からの選択	○			◎			
		シルクスクリーンの世界	・シルクスクリーンの理解1、2 ・テーマを決める1、2 ・テーマを決める1、2	○	○	○				
	5	中間考査(5/16～5/19)	・アイディア1・2			○	◎			
			・アイディア3			○	◎			
			・アイディア4、5				◎			
	6		・下描き1				◎			
			・下描き2、3	○			◎			
			・シルクスクリーンを学ぶ			◎				
	7	期末考査(6/28～7/4)	・版制作1、2			◎			学 習 の 到 達 目 標 ・制作におけるさまざまな技法を習得し、自己表現に生かすことができる。 ・自分の個性や感性、思いを、相手に伝わるように表現すると同時に、友だちの作品の思いも同様に読み取ることができる。 ・人間にとって芸術とは何なのか、自分にとってどういう意味を持つのかを、自ら制作する中で考えることができる。	
		・版制作5、6			◎					
		・鑑賞	○							
夏季休業日(7/21～8/24)										
二 学 期	8	卒業制作(デザイン)	○タンブラー制作 ・アイデア	○			○	評 価 の 観 点 美術への関心・意欲・態度 美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 創造的な技能 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。		
		エッチングの世界	・アイデア2・3 ・下描き1・2 ・下描き3・4 ・エッチング1・2 ・エッチング3・4		○	◎				
						◎				
	9		・エッチング5・6 ・エッチング7・8 ・着色① ・着色② ・仕上げ① ・仕上げ② ・完成			◎				
		中間考査(10/3～10/6)				◎				
				○	◎					
	10		・相互鑑賞	○						
		期末考査(11/29～12/5)								
		鑑賞	・映像鑑賞				○			
	11	冬季休業日(12/21～1/8)					○		鑑賞の能力 美術や美術文化を幅広く理解し、その良さと美しさを創造的に味わっている。	
世界のアニメーション(鑑賞)		○アニメーションの表現について理解を深める。 ・鑑賞1、2 ・鑑賞3	◎			◎				
まとめ		・6年間を振り返って 家庭学習	◎			○				
12			○			◎	評 価 方 法 学習の状況は、「美術への関心・意欲・態度」、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。			
			○			◎				
			○			○				
三 学 期	1			○				備 考		
				○						○
				○						○